

SHIRAKOBATO

しらこぼと



1995. 11

SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

WILD BIRD



NO. 139

日本野鳥の会 埼玉県支部

全国野鳥密猟問題シンポジウム

福井 恒人 (浦和市)

8月26日の朝自宅を出て、大分県別府市亀川での12時の受付に無事バス。間に合った。第3回全国野鳥密猟問題シンポジウムの会場に全国20支部からたくさんの人々が集まったのです。

●今までのいきさつは

5年前の5月、渋谷駅前でカスミ網所持や販売を禁止するための集会が開かれ、我が埼玉県支部からも、谷津干潟探鳥会参加者たちが多数駆けつけたことを思い出していただけることと思います。この時に主体となったのが、カスミ網密猟対策連絡協議会です。

この年、平成2年の6月30日と7月1日の2日間にわたって、岐阜県で全国カスミ網問題シンポジウムが開催され、埼玉県支部からは私が派遣されました。全国から25団体 150名が参加し、国会に働きかける事、皆様にご協力いただいた署名を有効に活用する事を決議しました。

いろいろな活動が実を結んで、平成3年4月に法律が改正されて、カスミ網の販売所持が禁止されたのはご存じの通りですが、これを機に、この会は、全国密猟対策連絡会に変わりました。

新しい全国密猟対策連絡会の主催で、平成4年の夏、徳島県眉山で第1回全国密猟問題シンポジウムが開催され、第2回は愛知県定光寺で、そして今回の大分県が3回目というわけなのです。私は過去の2回にも参加しています。

●埼玉県でも

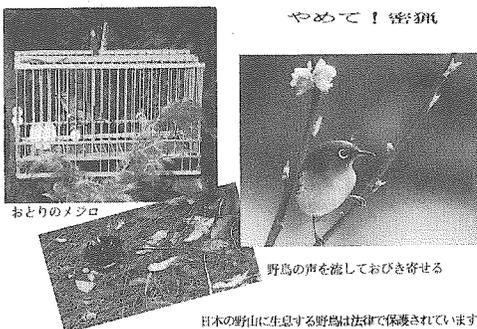
密猟の対象となる鳥は、飼育用のヒバリ、コマドリ、ウグイス、オオルリ、ヤマガラ、メジロ、ホオジロ、マヒワ、イスカ、イカル、シメなど、はく製のワシ・タカ類やフクロウ類、食用のカモ類の期間外狩猟やツグミ類などで、全国各地で頻繁に発生しています。

残念ながら、埼玉県でも例外ではありません。県の鳥獣保護員である私が、探鳥会の途中で密猟現場などを見つけて、指導放鳥させたこともあります。この時は飼育用のメジロでしたが、1度ではなく、日野溪谷、越生、蓮田の各探鳥会でありました。

●さて、第3回シンポジウムは

全国20支部からの参加者に加え、環境庁の担当者、各県行政担当者、世界自然保護基金日本委員会代表、日本野鳥の会本部など、密猟問題に関わりのある人々が集まりました。

自然保護をアピールして当選した国会議員はたくさんいる中で、ある議員は政策秘書を代理で参加させて積極的な情報収集をして、この問題に真剣に取り組んでいる姿勢が見え



連絡会制作のPRはがき

□支部の探鳥会規定を改正しました□

第5項の(6)(7)に、探鳥旅行が中止になった場合の規定を新設し、第4項の(3)と第6項の文章を整理し直したのが改正点です。支部の探鳥会はすべてこの規定に従って開催されます。お読みください。

日本野鳥の会埼玉県支部探鳥会規定

1, 目的

探鳥会は、野鳥と自然と人のふれあいの場を通して、楽しみながら自然に対する理解を深めあう催しです。そして、日本野鳥の会の活動への賛同を得て、より人間性豊かな社会の実現を目的とします。

2, フィールドマナー

野鳥の生活をおびやかす行為、植物や昆虫などの採集、ゴミの放置など、自然環境を乱す行為は、厳に慎みましょう。

3, 開催

(1)探鳥会を開催する場合は、役員会においてあらかじめ場所、日時、担当リーダーなどを定め、支部報『しらこぼと』に掲載します。

(2)探鳥会は原則として小雨決行とします。雨天等の場合、担当リーダーの判断により中止することもあります。

4, 参加者と参加費

(1)探鳥会には、会員はもちろん、会員でない人も誰でも参加できます。ただし、小学生以下の参加は保護者同伴を原則とします。また、一泊以上の探鳥会及び役員会が指定する探鳥会については、中学生以下は保護者同伴、高校生は親の承諾を必要とします。

(2)参加者は、会員と中学生以下の会員でない人は50円、高校生以上の会員でない人は100円の参加費を納めてください。

(3)探鳥旅行などの場合は、旅費・宿泊費・保険料なども含めた参加費を役員会であらかじめ決定し、『しらこぼと』に掲載します。事前に納めていただく場合もあります。

5, 申し込み、取り消し、中止

(1)探鳥会は原則としてあらかじめ参加申し込みを必要としません。

(2)あらかじめ参加申し込みを必要とする場合は、その旨を支部報『しらこぼと』に掲載しますので、そこに指定する申し込み方法で申し込んでください。

(3)参加申込み者が定員を超過した場合は、先着順または抽選によって参加者を決定します。

(4)参加申し込み者は、取り消しをした場合、特に定めない限り、以下の違約金を支部に納めてください。

①出発日の10日前までのキャンセルは、参加費の20%

②出発日の3日前までは参加費の30%

③2日前から出発当日までのキャンセル、及び無断不参加は、参加費の50%

(5)参加申し込み者が参加不能となった場合、その人が紹介したかわりの人が参加できます。ただし、指定した申し込み方法と同じ方法で、あらかじめ担当者に必ず連絡してください。この場合は違約金は必要ありません。

(6)あらかじめ参加費を集めた探鳥会・探鳥旅行が、支部の責任によらない原因によって中止されたとき、それまでに支出した保険料・通信費などの経費及び返金手数料を差し引いた金額を返還します。

(7)あらかじめ参加費を集めた探鳥会・探鳥旅行が、支部の責任による原因によって中止されたとき、参加費全額を返還します。

6, 安全対策

万一の事故の場合は参加者各自に責任を負っていただくことを前提に、団体行動に無理なく同行できるかどうか、各自の責任で参加を決め、安全には十分に注意して行動してください。

施行：昭和60年9月1日 改正：平成3年8月18日・平成7年9月17日

鳥人間ファッション考

榎本みち子 (鴻巣市)

過日、松井支部長の英語講座に出席した折アララ、と思った意外な事実。

皆さんにお目に掛かるときは探鳥会ばかりだから、アウトドア仕様のハードないでたちしか知らなかったけれど、鳥以外のプライベートでも、どなたもそれぞれオ・シャ・レ。

特に50代以上の男性が、実にさりげなく、くだけていてGOOD。一般的に管理職クラスの年代になると、背広姿は決まっているのに、私服になるとオジサンぼくてイマイチという人が多いなか、鳥の人はそれがない。

中年熟年男性が苦手とするカジュアルスタイルがすんなり似合っているのは、伸び伸びとオフを楽しむ心のゆとりがあるからだろうか。気持ちの若さの表われだろうか。

いずれにしても、気負いのない大人のカジュアルは新鮮でステキ。「うちのダーリンもあんなふうになってもらいたいものだ」と、ひそかに思った一日でした。

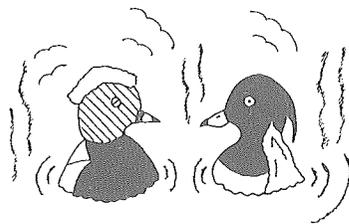
海上の森を知って下さい

渡辺敦 (名古屋に行っても埼玉支部会員)

春にはギフチョウが舞い、梅雨の森の中でサンコウチョウやオオルリが歌う、そしてその空に悠然と浮かぶオオタカ。ここは愛知県瀬戸市にある海上(かいしょ)の森、愛知県支部も探鳥会を開く、状態のよい里山です。しかし、ここに「万国博覧会」の会場設置が計画されています。

地元でも反対運動が展開されていますが、こちら埼玉県支部の皆さんも少し気にかけて下さい。

また機会があったらご紹介しましょう。



(カット 中村治)

白頭鷲の英名講座・第14回

ハチクマ — Honey Buzzard

前回のサシバ (Gray-faced Buzzard-Eagle) ができればやはりハチクマをその次にだすのが順当でしょう。秋の渡りには数の上では第2位を占めていますが、その風格と一羽一羽のパターンの違いに固有の魅力があります。

英名の Honey Buzzard はハチクマの名のとおりハチ類の幼虫を好んで食べる由来するようです。幼虫ばかりか蜜、蠟蜜をも食べるころから、蜜にウエイトをおいて「Honey(蜜)を食べる大型のタカ」ほどの意になります。

和名のハチクマも実によくその習性をとらえた味のある命名と思いませんか。その由来は「ハチを食べるクマタカのようなタカ」という意味です。

なお、本によってはハチクマを Crested Honey-Buzzard, または Oriental Honey Buzzard としているものもありますが、特にいずれが正しく、どれが間違っているという性

質のものではありません。Crestedは「Crest(とさか、冠毛)のある」という点を強調し、Orientalは(東洋の)という分布上のポイントを強調しているのです。一種の鳥にもいろいろな呼び方があるものと柔軟に受け入れましょう。

いずれにしてもこのハチクマ (Honey Buzzard) はハチの子、ハチの巣取りの名人で主食の約70%はハチの類であるといわれています。

サシバより一回りも大きく、固体差のはげしいこのハチクマを観察する際には、その珍しい食性にも思いを馳せながら観ればまた一味違ったバードウォッチングとなるでしょう。



鳥情報

カンムリカイツブリ ◇9月21日、戸田市道満荒川第一調節池で1羽(高橋達也)。
 コガモ ◇9月10日、志木市の柳瀬川、高橋～栄橋間で2羽(中村治)。◇9月12日、浦和市の白幡沼で16羽(海老原美夫)。◇9月13日、杉戸町の大島新田遊水池で30羽以上(秋間利夫)。
 トビ ◇9月13日、幸手市木立で1羽(秋間利夫)
 サシバ ◇9月20日午後2時30分、伊奈町の町制施行記念公園上空で1羽。旋回を繰り返しながら北西方向に消える。渡りについたか(松井昭吾)。◇9月24日、入間市の加治丘陵、桜山展望台で1羽(山本真貴子)。
 チゴハヤブサ ◇9月24日、入間市の加治丘陵、桜山展望台で1羽。飛びながらトンボを捕らえて食べていた(山本真貴子)。
 チョウゲンボウ ◇9月18、19日、和光市新倉の自宅(アパート4階)ベランダ前で♂1羽。狩りの瞬間を目撃。「キイキイ」と鳴きながらコウモリを追い回し、捕獲。午後5時半過ぎの夕暮れ時の事(盛田明彦・則子)。
 タマシギ ◇9月7日、鴻巣市郷地の休耕田で♂1羽とヒナ4羽(鈴木博志)。◇9月10日、行田市野の休耕田で♂1羽とヒナ4羽(鈴木博志)。
 コチドリ ◇8月30日、杉戸町の大島新田遊水池で5羽以上。9月13日にも5羽以上



(ノビタキ 菱沼一充)

(秋間利夫)。◇9月11日、川越市南古谷の休耕田で数羽(新堂克浩)。
 イカルチドリ ◇9月15日、長瀨町大河原で1羽。砂浜の少ない石ゴロゴロの中で見つけ感激(陶山和良・順子)。◇9月19日、熊谷市の別府沼付近で約30羽(中島章二)。
 シロチドリ ◇8月30日、杉戸町の大島新田遊水池で5羽(秋間利夫)。
 ムナグロ ◇8月30日、杉戸町の大島新田遊水池で2羽。◇9月11日、川越市南古谷の休耕田で5羽(新堂克浩)。
 トウネン ◇8月30日、杉戸町の大島新田遊水池で2羽。9月13日にも1羽(秋間利夫)。
 ヒバリシギ ◇9月10日、川越市古谷本郷の休耕田で5羽(鈴木博志)。◇9月11日、川越市南古谷の休耕田で4羽(新堂克浩)。
 ウズラシギ ◇8月30日、杉戸町の大島新田遊水池で2羽。9月13日にも1羽(秋間利夫)。◇9月10日、川越市古谷本郷の休耕田で3羽(鈴木博志)。◇9月11日、川越市南古谷の休耕田で2羽(新堂克浩)。
 エリマキシギ ◇9月10日、川越市古谷本郷の休耕田で幼鳥1羽(鈴木博志)。◇9月11日、川越市南古谷の休耕田で3羽(新堂克浩)。◇9月13日、杉戸町の大島新田遊水池で2羽(秋間利夫)。
 ツルシギ ◇9月13日、杉戸町の大島新田遊水池で2羽。
 アオアシシギ ◇8月30日、杉戸町の大島新田遊水池で3羽。9月13日にも7羽(秋間利夫)。◇9月8日、戸田市道満荒川第一調節池で3羽(高橋達也)。◇9月11日、川越市南古谷の休耕田で2羽(新堂克浩)。◇9月19日、熊谷市の別府沼付近で10羽(中島章二)。
 クサシギ ◇8月30日、杉戸町の大島新田遊水池で3羽(秋間利夫)。◇9月8日、戸田市道満荒川第一調節池で1羽(高橋達也)。
 タカブシギ ◇8月30日、杉戸町の大島新田遊水池で5羽。9月13日にも2羽(秋間利夫)。◇9月8日、戸田市道満荒川第一調節池で1羽(高橋達也)。◇9月10日、川越市古谷本郷の休耕田で16羽(鈴木博志)。◇9月11日、川越市南古谷の休耕田で数羽

(新堂克浩)。

オグロシギ ◇9月13日、杉戸町の大島新田遊水池で4羽(秋間利夫)。

オオジシギ ◇9月23日、浦和市秋ヶ瀬の大久保農耕地B区で1羽(海老原美夫)。

タシギ ◇8月30日、杉戸町の大島新田遊水池で3羽。9月13日にも12羽以上(秋間利夫)。◇9月11日、川越市南古谷の休耕田で数羽(新堂克浩)。

セイタカシギ ◇9月10日、川越市古谷本郷の休耕田で幼鳥2羽(鈴木博志)。◇9月11日、川越市南古谷の休耕田で2羽(新堂克浩)。◇9月19日、熊谷市東別府の休耕田で♂1羽。今年もまたやって来ました(中島章二)。

カッコウ? ◇9月24日、大宮市の大宮第2公園で1羽。腹の横シマが細くて密に見えたのでカッコウだと思う(浅見徹)。

アマツバメ ◇9月24日、入間市の加治丘陵、桜山展望台で2羽(山本真貴子)。

ヤマセミ ◇9月15日、長瀬町大河原の急流対岸で2羽。木陰より木陰へ移動する(陶山和良・順子)。◇9月23日午前8時23分、日高市の高麗川ガタガタ橋上空で1羽。「ケッケッケッ」と鳴きながら獅子岩橋の方へ飛んで行く(小林堅一)。◇9月23日、寄居町の玉淀湖で1羽。他にカワセミ1羽、オシドリ♀1羽。鐘撞堂山探鳥会の後のカヌーによる二次会探鳥会にて。上記確認の後カヌーは横転、哀れ松井支部長、青山は濡れネズミ。楽しかった～、またやろうね(青山紘一)。

カワセミ ◇9月23日、日高市の高麗川ガタガタ橋上流で2羽いるところに別の1羽が飛んできたので片方の1羽が向かって行った(小林堅一)。



(エゾビタキ 菱沼一充)

ショウドウツバメ ◇9月5日、和光市新倉の自宅付近で約10羽。縄張りに侵入されて怒ったのか、ハクセキレイが追い回す。半日でいなくなった(盛田則子)。

ハクセキレイ(ねぐら) ◇9月22日、岩槻市の東武野田線東岩槻駅前の街路樹(ケヤキ)に昨年に続いて、今年も集団でねぐらをつくっている(中村榮男)。

ノビタキ ◇9月23日、熊谷市大麻生の旧押切橋付近で3羽(菱沼一充)。◇9月24日、富士見市水子の柳瀬川左岸の田んぼで2羽(中村治)。◇9月24日、戸田市道満荒川第一調節池で1羽(高橋達也)。

オオルリ ◇8月29日、戸田市の戸田公園で若鳥♂1羽。♂は当地初記録(高橋達也)。

エゾビタキ ◇9月7日、秩父市の羊山公園で1羽(山岸昭治)。

サンコウチョウ ◇9月22日午後12時30分、大宮市西新井の森でコゲラ、シジュウカラの混群中に♀1羽。何度かフライングキャッチをした後、飛び去る(浅見徹)。

エナガ ◇9月7日、秩父市の羊山公園でシジュウカラ、コゲラ、メジロとの混群(山岸昭治)。

表紙の写真

バードフォトコンテスト1995入選作品

カワウ (ウ科)

4羽のカワウが仲良く並んで杭の上にとまっていた。そのうちの2羽が、独特の羽根を広げるポーズをしていました。

ここは、大宮市深作。

冬には、たくさんのカワウたちが集まって

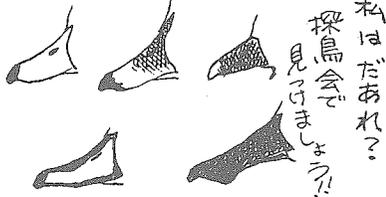
きては、羽根を休めたり、泳いだりしています。

いろいろな種類のカモもやってきて、とてもにぎわいます。

進藤 隆 (寄居町)

行事あんない

＊カモのくちばしです。



(渡辺 敦)

特別な場合を除いて予約申し込みの必要はありません。初めての方も、青い腕章をした担当者に遠慮なく声をおかけください。私達もあなたを探していますので、ご心配なく。

参加費は一般100円。会員と中学生以下50円。持ち物は、筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、もしあれば双眼鏡など。解散時刻は、特に記載のない場合、正午から午後1時頃。小雨決行です。

自然保護のため、できるだけ電車バスなどをご利用のうえ、指定の集合場所までおいでください。

上尾市・丸山公園探鳥会

富士見市・柳瀬川探鳥会

期日：11月3日（金・祝）

◆ 上記の行事は10月号をご覧ください。

長野県・白馬高原探鳥会（要予約）

期日：11月4日（土）～5日（日）

定員に達しましたので締切りました。

大宮市・染谷見沼自然公園探鳥会

期日：11月5日（日）

集合：午前8時30分 JR大宮駅東口 こりすのトトチャン像前、集合後バスで現地へ、または午前9時30分、さぎ山記念公園駐車場

担当：工藤、新堂、楠見、高松、森、浅見（徹）
見どころ：秋の深まりを感じる見沼田圃。渡ってきた冬鳥達が憩う田圃や斜面林に姿を求めてゆっくりと歩きます。一息入れに是非おでかけください。

栃木県・奥日光探鳥会（要予約）

期日：11月11日（土）

定員に達しましたので締切りました。

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：11月12日（日）

集合：午前9時30分 秩父鉄道大麻生駅前
交通：秩父鉄道熊谷9:11発、または寄居9:03発に乗車

担当：菱沼（一）、森本、小池、田口、菱沼（洋）、斉藤、中島（章）、和田、石井（博）

見どころ：野鳥の森が整備され、大麻生駅のトイレもきれいになりました。ちょっぴりさびしかった野鳥の森もシメヤアオジなどの冬鳥もやってきて、楽しい季節の到来です。

桶川市・川田谷探鳥会

期日：11月12日（日）

集合：午前8時45分 JR高崎線桶川駅西口 8:53発川越行きバスで現地へ

担当：岡安、吉原、桜庭、榎本、内藤、立岩、阿久沢、佐藤（進）

見どころ：道路建設で埋めたての続く江川流域に、今年もタゲリの群れが渡ってきてくれることを信じて、皆で「お疲れさま」と声をかけてあげましょう。

浦和市・三室地区定例探鳥会

期日：11月19日（日）

集合：午前8時15分 京浜東北線北浦和駅東口、集合後バスで現地へ、または午前9時 浦和市立郷土博物館前

後援：浦和市立郷土博物館

担当：楠見、福井、渡辺（周）、手塚、伊藤、笠原、若林、倉林、岡部、兼元、嶋田

見どころ：冬鳥勢ぞろい。カモ達も勢ぞろいの晩秋の三室です。3月には見沼自然

公園で、10月には民家園周辺での探鳥会も新規にスタート、先輩の郷土博物館もがんばろう！

滑川町・武蔵丘陵森林公園探鳥会

期日：11月23日（木・祝）
集合：午前9時30分 森林公園南口駐車場
交通：東武東上線森林公園駅下車、森林公園南口行き9:17発バス乗車、終点下車
費用：入園料390円（子供80円）
担当：内藤、吉原、榎本、岡安、石井（幸）、佐久間、長谷部、藤掛

見どころ：冬の森林公園第一弾！ 落葉を踏みながら小鳥たち、沼にカモの仲間、ガサゴソとかき散らすツグミの仲間を求めて歩きましょう。

深谷市・仙元山公園探鳥会

期日：11月23日（木・祝）
集合：午前9時 JR高崎線深谷駅前
担当：菱沼（一）、小池、菱沼（洋）、斉藤、小野沢、中島（章）、小淵、関根、新井、倉崎

見どころ：『埼玉見て歩き』のコースを歩く探鳥会。2月は大雪で中止になってしまったので1年ぶり。ジョウビタキ、ルリビタキ、ピンズイ、キクイタダキなど冬の小鳥に期待！

新潟県・佐潟、福島潟探鳥会(要予約)

期日：11月25日（土）～26日（日）
定員に達しましたので締切りました。

『しらこぼと』袋づめの会

とき：11月25日（土）午後1時～2時ごろ
会場：支部事務局108号室
鳥のシラコバトではなく、この支部報『しらこぼと』を封筒に入れて、発送準備の作業をする会です。終わった後は、腕自慢のビデオも見られます。

狭山市・人間川定例探鳥会

期日：11月26日（日）
集合：午前9時 西武新宿線狭山市駅西口

交通：西武新宿線所沢8:45発、本川越8:43発に乗車

担当：長谷部、三田、石井（幸）、高草木、小野、中村（祐）、山本、藤掛

見どころ：アオジ、シメ、カシラダカ地鳴きを文字にするとみんな“チッ”。それぞれの違い判るかな？ 判らない人はこの探鳥会に参加すれば、この日から聴きわけに自信が持てますヨ。

長瀬町・宝登山探鳥会

期日：11月26日（日）
集合：午前9時20分 秩父鉄道長瀬駅前
交通：秩父鉄道熊谷8:22発、お花畑8:19発、東武東上線川越7:45発→小川町乗継→寄居、秩父鉄道寄居8:52発に乗車
解散：宝登山ロープウェイ山頂駅付近
担当：小池、佐久間、町田、関根、青山、井上、岡野、林（滋）

見どころ：宝登山山頂まで約2時間のウォーキング&ウォッチング。カヤクグリ、キクイタダキなど冬の小鳥がお目あてです。足指えはしっかりと。

浦和市・民家園周辺定例探鳥会 <見沼ヘルシーロードコース>

期日：12月3日（日）
集合：午前9時 浦和市くらしの博物館民家園駐車場、念仏橋バス停前
交通：JR浦和駅西口バス1番乗場、さぎ山公園行8:14発、または大崎園芸植物園行8:25発に乗車、念仏橋下車
後援：浦和市くらしの博物館民家園
担当：伊藤、手塚、笠原、楠見、工藤、桜庭、新堂、高松、渡辺（光）
見どころ：出合えるとホッとするツグミ、ニコッとしてしまうジョウビタキ、タゲリなどの冬鳥達に逢いにきませんか。

◆ 12月3日には下記の行事も行われます。
詳細は12月号までお待ち下さい。
阪東大橋探鳥会、石戸宿定例探鳥会

行事報告

4月23日(日) 浦和市 秋ヶ瀬

参加: 30人 天気: 曇

カワウ ダイサギ カルガモ コガモ ホシハジロ キンクロハジロ チョウゲンボウ キジ タシギ ユリカモメ キジバト コゲラ ヒバリ ツバメ ハクセキレイ ビンズイ ヒヨドリ モズ アカハラ シロハラ ツグミ ヒバリ セッカ シジュウカラ アオジ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (31種) 風に寄り掛かれることを知った一日。強風の中で鳥を観察。砂ぼこりの吹き付けるのも気にしない。目の中に砂ぼこり?それとも砂ぼこりの中に目?それでも31種。ご立派。(福井恒人)

5月7日(日) 蓮田市 黒浜沼

参加: 39人 天気: 晴

カイツブリ カワウ ダイサギ カルガモ コジュケイ キジ バン コチドリ ムナグロ キョウジョシギ ハマシギ チュウシャクシギ ユリカモメ キジバト ヒバリ ツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ オオヨシキリ セッカ シジュウカラ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (29種) 田植え最盛期のあぜ道を、農家の邪魔にならないように歩きながらの探鳥会。水の入った田圃にはハマシギやチュウシャクシギが、田の起こされた所にはキョウジョシギやムナグロが入っていて、十分に楽しめた。アシ原では、オオヨシキリやセッカも見られた。(中島康夫)

7月16日(日) 滑川町 武蔵丘陵森林公園

参加: 33人 天気: 曇

カイツブリ コサギ カルガモ オオタカ コジュケイ ホトトギス コゲラ ツバメ イワツバメ ヒヨドリ ウグイス シジュウカラ ホオジロ カワラヒワ スズメ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (18種) 梅雨で雨が心配だったが、なんとかもった。この時期、鳥はあまりいないが、その代わりに蝶や花が一杯。今年も目当

てのオオムラサキをなんとペアリングのおまけ付きで見られて一安心。昨年に続き「森林公園を考える会」の谷津さんに、蝶や花の説明をしていただき、大変お世話になりました。(佐久間博文)

7月30日(日) 白頭鷲の英名講座

会場: 北本自然学習センター 参加: 40人

久々の室内会。白頭鷲こと松井支部長が講師ということで、会場は満員の大盛況。支部長は、中学生のころから英語に興味を持ち、苦勞して英語を習い、英語を話せる職場として駐留軍の立川基地に就職し、米兵と一緒に長年にわたって仕事をして英語を覚えられたことを前半で語られました。後半は、バードウォッチングでの英語の使い方、鳥の名前の由来、外国へ行ったときの話し方など、わかりやすく話してくださいました。これを機会に鳥の名前を英語で言えるようになってみたい。支部長ありがとうございました。(中島康夫)

8月6日(日) 北本市 石戸宿

参加: 32人 天気: 晴

カイツブリ ヨシゴイ ゴイサギ ダイサギ カルガモ コジュケイ キジ バン キジバト カワセミ ツバメ ヒヨドリ モズ オオヨシキリ セッカ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (22種) 駐車場に集合した参加者の横を、餌をくわえたカワセミが往ったり来たり。学習センター前のアシ原を時折ヨシゴイが飛ぶ。一夜堤近くのアシ原では、バンの幼鳥をじっくり観察。猛暑の中で早くもアキノタムラソウが咲いていた。最後は日照った体をセンターのクーラーで冷やしながらビデオ観賞。(岡安征也)

8月20日(日) 浦和市 三室地区

参加: 33人 天気: 快晴

カイツブリ ゴイサギ コサギ カルガモ バン イソシギ キジバト ツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ オオヨシキリ

シジュウカラ ホオジロ カワラヒワ スズメ
ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (20
種) 今年の夏は非常に暑かったが、特に暑い日。
暑さを考え「コースの設定」「時間の短縮」「終
った後の麦茶の用意」等いろいろありましたが、
アシの葉陰にバンやゴイサギ、イソシギの姿を見
ると、やっぱりいいものでした。(楠見邦博)

8月20日(日) 千葉県 船橋海浜公園

参加: 27人 天気: 晴

カウ ダイサギ コサギ シロチドリ メダイ
チドリ ムナグロ キョウジョシギ トウネン
ハマシギ オバシギ アオアシシギ キアシシギ
ソリハシシギ チュウシャクシギ ウミネコ ア
ジサシ コアジサシ キジバト ヒバリ ツバメ
ハクセキレイ セッカ オオヨシキリ スズメ
(24種) 冷夏の予想が外れてから1ヵ月。とにかく
暑い。そのせいか鳥の方もいまいちだが、それ
でも埼玉では見られないシギ・チドリが一杯。じ
っくり見ようと思ったが、あまりの暑さに早々に
切り上げてしまった。(佐久間博文)

9月3日(日) 本庄市 阪東大橋

参加: 41人 天気: 曇

ゴイサギ ダイサギ コサギ アオサギ カルガ
モ トビ ハイタカ ノスリ チョウゲンボウ
コジュケイ バン クサシギ キアシシギ イソ
シギ キジバト カワセミ ヒバリ ショウドウ
ツバメ ツバメ イワツバメ キセキレイ ハク
セキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ノ
ビタキ セッカ ホオジロ カワラヒワ スズメ
ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガ
ラス (34種) ツバメ3種の識別をレクチャーした
後、ハイタカの歓迎を受け、元気にスタート。土
手沿いの枝ではコジュケイが「チョットコイ」と
鳴く姿。電線には、胸にT字マークのショウドウ
ツバメがちょこんと整列。途中の池ではバンの親
子が恥かしそうにかくれんぼ。時期的には早めの
ノビタキも登場し、中州に着くやキアシシギのお
出迎え。最後はカワセミとチョウゲンボウでフィ
ニッシュの楽しい探鳥会になった。(小池一男)

9月10日(日) 熊谷市 大麻生

参加: 49人 天気: 曇

カイツブリ カウ ダイサギ コサギ アオサ
ギ カルガモ コジュケイ キジ イソシギ キ

ジバト カッコウ ヒメアマツバメ カワセミ
アカゲラ コゲラ ヒバリ ツバメ イワツバメ
ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ
セッカ シジュウカラ ホオジロ カワラヒワ
スズメ コムクドリ ムクドリ オナガ ハシボ
ソガラス ハシブトガラス (32種) 明戸堰へのコ
ース。土手を歩いていると、ゴルフ場のくさむら
でキジの幼鳥、桜並木ではカッコウ、用水沿いの
ネムノキではコムクドリが見られた。エソビタキ
などは残念ながら現われず、荒川の濁水でシギ・
チドリ類も少なかった。(森本國夫)

9月10日(日) 坂戸市 高麗川

参加: 27人 天気: 曇

カイツブリ ゴイサギ コサギ カルガモ オオ
タカ サシバ コジュケイ キジ バン イカル
チドリ イソシギ キジバト ヤマセミ カワセ
ミ コゲラ ツバメ コシアカツバメ キセクレ
イ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ
モズ ホオジロ カワラヒワ イカル スズメ
ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (29
種) カイツブリの浮き巣では、親鳥が交代で巣を
守り、卵を暖めている様子。その近くで、カワセ
ミのダイビング。空を見上げると、サシバが滑る
ような飛翔。天神橋の近くの堰では、早くもイカ
ルが姿を見せた。気まぐれなヤマセミ君も姿を見
せてくれ、全員のを和ませた。(石井幸男)

9月17日(日) 浦和市 三室地区

雨のため中止。

9月24日(日) 浦和市 秋ヶ瀬

雨のため中止。

9月24日(日) 狭山市 入間川

参加: 12人 天気: 小雨

カイツブリ ゴイサギ ダイサギ コサギ カル
ガモ イカルチドリ イソシギ キジバト アオ
ゲラ コゲラ ヒバリ ツバメ イワツバメ ハ
クセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ
シジュウカラ カワラヒワ スズメ ムクドリ
オナガ ハシボソガラス (23種) 小雨が降る中を
12人の参加者でスタート。イカルチドリやイソシ
ギなどの常連を見ながら河原を進む。コガモの姿
もまだ見られない。渡り途中の小鳥たちが期待さ
れた稲荷山公園も空振りだった。(長谷部謙二)

連絡帳

●秋のパネル展

タイトル “野鳥も人も地球の仲間”

期間 平成7年11月3日(金・休)～11月12日(日) 初日は正午から、最終日は午後5時まで

場所 熊谷駅ビル・アズ熊谷 4階 カプセルプラザ

主催 日本野鳥の会埼玉県支部

後援 (株)アイリスメガネ アズ熊谷

内容 アズ熊谷での秋の野鳥写真パネル展は9回目を迎えました。一歩立ち止まって野鳥の会の基本理念をテーマに、過去8回の優秀作品と今年のフォトコンテスト入選作品7点を展示します。どうぞお集まりください。

お手伝いをお願いします。初日の午前10時～正午は展示作業、最終日の午後5時～6時は撤去作業、期間中の土曜日曜はグッズ販売、いろいろ仕事があります。役員リーダーにかぎらず、どなたでもお手伝いをお願いします。

●バードフォトコンテスト1995入選作発表

本誌9月号で作品募集をよびかけたコンテスト、9月15日までという短期間でしたが、5名から18点のご応募をいただきました。

9月17日(日)役員会での審査の結果、次の7点が入選しました。

ベニマシコ♂(宇恵昭良)、ノスリ、ベニマシコ♀(小出博)、カワウ、ササゴイ(進藤隆)、ツミ(中田寛)、シメ(増尾隆)
(氏名の50音順)

●放送時間の変更

秋の番組改編で、海老原美夫副支部長が自分の写した野鳥ビデオを解説紹介するテレビ埼玉のレギュラー番組「野鳥」の放送時間が変わりました。

新しい時間枠は、毎週火曜日と水曜日の午後0時30分ころから45分ころまでの間の5～6分間、水曜日は再放送ですが、2日間のど

ちらか、あるいは両方ともないときもあります。

●野生の生きもの写真コンクール

県内の野生生物の生態をテーマとする県主催のコンクールが今年も開催されます。募集期間は12月1日～来年1月31日。問い合わせ先は、336 浦和市高砂3-15-1 埼玉県環境部自然保護課野生生物係 TEL 048-830-3154。

●11月の土曜日当番(2時～6時)

4日 登坂久雄

11日 山部直喜 海老原美夫(編集会議)

18日 工藤洋三 桜庭勇(校正の日)

25日 袋づめの会(1時から)

●会員数は

10月2日現在 2,695人です。

活動報告

9月8日 あさひ銀ユニオンクレジット探鳥会打ち合わせ(事務局)。

9月11日 本会で事務処理などについての打ち合わせ(事務局)。

9月17日 役員会議(司会:新堂克浩、探鳥会規定改正・秋のパネル展・年末講演会・研究部新調査案・その他)。

9月19日 普及部だよりを役員リーダーに発送(楠見文子、吉本富美子、海老原敦子)。

9月23日 10月号校正作業(海老原美夫、笠原伸子、工藤洋三、桜庭勇、高草木泰行)。

編集後記

今流行というダンベル体操を始めて1ヵ月以上になる。もしかすると四十肩かと気になっていた左肩の痛みもなくなり、調子が良い。鐘撞堂山の探鳥会に3才の娘を連れて行ったら、登りは何とか一人で登ったけれども、下りは案の定おんぶになってしまった。ダンベルより重かったけれども、体操の成果か、途中取り落としもせず、最後までおぶることができた。ああ、よかった。(藤原寛治)

『しらこぼと』1995年11月号(第139号) 定価 100円(会員の購読料は会費に含まれます)
発行人 松井昭吾 編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部 TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460
〒336 浦和市岸町4丁目2番8号 プリムローズ岸町107号 郵便振替 00190-3-121130
印刷 関東図書株式会社 (本誌掲載記事の無断転載はかたくお断わりします)

再生紙使用